



平成24年 第1回センター委員会議事録



- 議事録を館内、ホームページに公開します。
- センター委員会についてのお問合せは事務室職員にお問い合わせください。

平成24年度第1回センター委員会議事録

日 時 平成24年6月25日(木) 午前9時30分～11時30分

場 所 藤が丘地区センター 中会議室

出席者 センター委員：

千葉紘一様(みたけ台町内会) 野口長宏様(もえぎ野町内会)
鈴木清平様(柿の木台町内会) 飯田稔様(藤が丘1丁目町内会)
深澤眞理子様(藤が丘2丁目B自治会) 浅田治様(千草台自治会)
上田宗孝様(青葉区高齢者健康体操指導者会)
瀬之口類子様(藤が丘インターナショナルトークサロン実行委員会)
馬場現示様(男声合唱団きこり)
小笠原弘様(3WAネットワーク)
藤田恵子様(緑のボランティア 鶯籠文明様代理) 順不同

指定管理者(NPO法人建物管理ネットワーク)：

谷川理事長、蒲谷事務局長

藤が丘地区センター館長、副館長、チーフコーディネーター：

片瀬、平田、藤原

欠席者 センター委員 柴田正雄様(藤が丘2丁目A自治会) 蜂須兼次様(梅が丘自治会)

他の会合と重なったために欠席とのご連絡をいただきました。

1. 指定管理者挨拶・センター委員紹介

・指定管理者挨拶、職員紹介

谷川理事長、蒲谷事務局長より挨拶、続いて職員挨拶

・センター委員自己紹介

2. 平成24年度センター委員会会長・副会長選出

会長に鈴木清平様、副会長に深澤眞理子様が選出されました。

3. 平成23年度(第2期指定管理初年度)報告

報告：片瀬館長

資料を元に、利用状況・利用料金・ニーズ対応費使途・修繕対応・サービス向上・
苦情/提案対応について説明しました。

(1) 平成23年度利用状況(資料2P)

・利用人数と稼働率

昨年度は節電のため休館日が10日増えましたが、年間の利用者数と部屋稼働率ともに増加し、過去6年間で最も多く利用頂きました。

横浜市全体80館の地区センターと比較しても、年平均利用人数13位、体育室利用人数14位、図書利用人数11位と、大変賑わいのある状況です。

(2) 利用料収入(資料3P)

利用料収入目標額達成率は 115%と、目標額を上回る数字となっています。目標額は前年度実績がベースになっているため、今年度は東日本大震災の影響もあり達成できるか危ぶまれましたがクリアできました。

この利用料収入目標額の 1/3 をニーズ対応費として、利用者へ還元しております。

(3) H23年ニーズ対応費の使途について(資料4P)

緑化事業費・蔵書購入費・修繕費・消耗品費・備品費に使用。3万円を超えるものは備品となりますが、3万円以下は消耗品扱いで項目数としては多くなっています。

例えば、節電の昨夏は暑かったため会議室用扇風機を配備、要望の強いプレイルームフローリング床へのマット敷き、個人利用のバスケットボールなどです。体育用具は消耗が激しく、卓球のラケットなど新調して1か月で割られてしまうケースもあります。

その他主なものとして、体育室でバスケットボールの正式試合ができる様に、床バスケットコートライン引き直しを修繕費として計上。また、古くて傷みが目立つ会議机は怪我をする心配があり、新しく備品として手配し整備いたしました。

(4) 苦情・ご意見、サービスの改善等状況について(資料5P)

① 苦情・ご意見の状況と対応

・子どもたちからの意見として、カードゲームの禁止解除やフットサルをやらせてほしい旨の声が聞かれます。しかし、カードゲームは盗難などが無くならない、フットサルは体育室の壁の強度問題があり、引き続き認めておりません。

・オープンスペースの利用で、学習専用の部屋を用意して欲しいことについては、部屋稼働率の高い当センターでは難しいため、娯楽コーナーとの境に新たにパーティションを設置し、より学習優先コーナーらしさを出した形態で利用頂いております。また、娯楽コーナーのマナーが良くないとの意見については、関係者に注意頂いて今は改善されております。

・スタッフ/職員のマナーについては、接遇研修を実施し、例えば大人と子供など人によって態度が違ったりしないようにしています。

・作品を展示させてほしいことについて、登録団体は10月～12月の2か月間をセンター祭りの一環として発表の場がありますが、一般の方は営利目的でなければショーケースが利用できます。地域の習い事の教室からの意見でしたが、生徒が自主的に出展する形式で、9月に2週間展示する予定です。

・子どもからの指摘で、食べ物を持ち込み禁止にしたら綺麗になるとの意見がありました。個人利用での飲食は「飲食コーナー」しかできませんが、体育室は健康上の理由から水/お茶の摂取は可としています。これが済崩し的に守られていない場合があり、現場を押さえて注意する様にしています。

・個人利用で体育室でカーテンをすべて閉め照明を点灯する様な要請が出る場合があります。これについては、節電のためカーテンを開け(明るければ)消灯を基本としますが、個別の要望ベースで柔軟に対応しています。

・区役所に置いてあるパンフレットやチラシをすべて地区センターに置くのは物理的に無理。地区センターに配布された資料が不足した場合は、直ぐ区から取寄せています。

② サービスの改善について

48件の項目に取り組みました。

主なものとして

- ・東日本大震災被災地へ支援物資を送る活動スペースの提供

- ・子育て支援の無料親子遊び広場の実施
- ・定期的な緑の環境整備（ボランティア）
- ・指定管理者青年部の特別清掃
- ・指定管理者の DIY 無料講座（網戸の張替、ハウスクリーニング）
- ・エントランスに 42 インチ大画面の部屋利用表示モニター設置
- ・プレイルーム/エントランス部への季節ごとの飾り付け（ボランティア）

4. 24 年度事業計画（資料 6 P）

(1) 年度計画

別紙『平成 24 年度 藤が丘地区センター主要行事予定』を元に片瀬館長が説明。

・七夕まつりは地域の老人会、子供会が主体となって推進。今年度は男性スタッフ、職員が増えたので当地区センターから力強い応援が期待できます。

・センターまつりは、スプリングフェスティバル、作品展、ダンスフェスティバル、秋祭りからなります。（資料 7P）

秋祭りは「ヒマラヤ桜」が咲くころに楽しんで頂きたいため、第 2 土曜日から第 4 日曜日（11 月 25 日）へずらしています。

・クリスマスロビーコンサート（12 月 8 日）は、ポップス/ジャズを予定しています。

・節分会（2 月 2 日）は、「おやじの腕まくり」が主体となって開催するもので、体育室で実際に豆まきし、鬼も出てきます。

・センター委員会は従来 2 回/年の開催でしたが、3 回/年とします。最終回の 3 月 1 日は今年度（平成 24 年度）事業報告とし、その後の最初の回では新年度事業計画をテーマに時間的余裕を持たせて充実させたいと考えています。

(2) 自主事業

別紙の自主事業行事予定を元に平田副館長が説明。

年間 86 講座を予定しています。中でも

・体操系は対象層をわけ、7 講座で 30 回/年実施。地域の方々の健康づくりにお役に立っています。

・藤が丘地区センターの緑の特徴を生かして、ハーブ講座を実施。大変好評でした。

・パソコン講座が多いですが、特に今年度は 7 台のノート PC を最新機（Windows7）に一新しましたので、新しいニーズに答えられると思います。

・IT の藤が丘らしく、スマートフォンについてもイロハから教える『スマホって何？』講座を新しく企画しています。

5. その他（資料 9 P、10 P）

報告：片瀬館長

(1) 職員体制

総勢 19 名体制の中で、今年度新規採用は 11 名です。各時間帯 2 名勤務体制をとります。

(2) IT 取組み強化

自主事業用 PC は 7 台を最新機に一新しました。

HP の更改、Web 申込みシステムの更改についても取り組む考えです。

(3) その他課題等

- ・新体制になった良さが皆様に届く様な職員研修の充実を行っていきます。
- ・計画的な修繕の必要性

築 23 年を迎える建物、備品の老朽化に優先順位をつけながら、今年度も計画的に対応していきます。

平成 23 年度は 22 件で総費用 386 万円の修繕を行いました。平成 24 年度は自動ドア更新、各室入口ドアクローザの更新を予定しています。

6. 質疑応答・話し合い

上記議事について以下のような質疑応答がありました。

<p>[質問 1]</p> <p>(飯田委員) 初めて委員になったので解らないのだが、センター委員会では会計報告なども見るのですか？</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(鈴木会長) 委員の立つ位置を明確にしてもらいたいです。</p> <p>(小笠原委員) 地域の代表として、全体の事業計画に対する改善提案をすることが必要です。</p> <p>(鈴木会長) 最初の段階で説明すべきです。</p> <p>地域の代表としてなら『あそこはいつもいっぱいだ』との声があります。</p>	<p>[回答 1]</p> <p>(片瀬館長) 指定管理者制度でセンター委員会を設けているのは、地域の方々の目線で地域に役立っているかご意見を聞き、運営に反映させる狙いがあります。従って委員は町内会代表、利用代表に委嘱させて頂いていますが、センター委員会での会計監査はありません。指定管理者は別に会計監査を受け法人として報告しております。</p> <p>また、別に一般の方から地区センターのあり方についての意見を頂く場として利用者会議を開催する様規定されています。</p>
<p>[質問 2]</p> <p>(上田委員) 予算は指定管理者が責任をもって遂行しているとは言え、全体の中でニーズ対応費を論じないと解りません。例えば節電のコストセービングで利潤がどこに回ったか等不明です。</p>	<p>[回答 2]</p> <p>(片瀬館長) 指定管理の委託料(利用料金を含む)は定額頂いています。収支報告書は公開されていますのでこの場に提示することは問題ございません。この中から諸費用を支出しており、例えば 60 万円未満の修繕は委託料の中で賄わなければなりません。昨年の節電で改善した費用は修繕にまわすことが出来ました。</p> <p>指定管理者は利益が無い中で、現状の電力使用量はもとに戻っており、今期東電の値上げに対してどうするか問題です。</p> <p>(蒲谷事務局長) 平成 22 年度の電気料金は 300 万円、平成 23 年度は節電で 20%低減でき 70 万円の節約。しかし、平成 24 年度は電気料金 20%値上げされ、現状では 360 万円になると見込まれます。</p>

<p>[質問3]</p> <p>(小笠原委員) 節電を利用者、特に地域の方々にお願ひするとか、七夕まつりに自治会の協力を願ひするなどすれば、センター委員会が活かされるのではないのでしょうか。白山地区センターではどのように運営していますか。</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(馬場委員) 昨年にセンター委員会に1回出た後、何の連絡もなく、突然集まっても何もできません。イベントで手が足りないのであれば、センター委員会を通して、各町内会などでも協力できるのではないのでしょうか。</p> <p>センター委員会の連絡網を作っては？</p> <p>(鈴木会長) 連絡網でなく、困ったことがあれば要請を受け参加するので、書類が送られてくればよいのでは？</p> <p>(飯田委員) 町内会がありこの回数でよいです。</p> <p>(上田委員) センター委員会は事務局がおり、委員独自の連絡網は不要では？</p> <p>(浅田委員) 連絡網でなく、年間計画でどれを手伝うか話し合ったらどうでしょうか。</p>	<p>[回答3]</p> <p>(片瀬館長) 従来の様にセンター委員会が2回/年では、初回に前年度実績報告で多くの時間が割かれてしまい、十分な話し合いが難しい面があります。このため、今年度は3回/年に改善しようとしています。</p> <p>(蒲谷事務局長) 白山地区センターは委員の数が多いため、センター委員会とは別に正副会長会を設けています。</p>
<p>[質問4]</p> <p>(上田委員) 健康体操を指導していて気付いたのですが、体育室の天井ファンは、上の窓だけ開けて回しても換気が効果ありますか？</p>	<p>[回答4]</p> <p>(片瀬館長) 設備業者からは排煙窓は閉め、下の窓を開けてファンを回さないと、空気が循環せず効果は薄いと言われています。</p>
<p>[質問5]</p> <p>(上田委員) 参加者が体育室のトイレに上履きのまま出入りしている場面を見かけました。現在のスリッパを運動の上履きを履いたままで、使えるカバーに変えてほしいです。</p>	<p>[回答5]</p> <p>(片瀬館長) 対応出来る物を探してみます。</p>
<p>[質問6]</p> <p>(鈴木会長) センター委員会で何を話し合っ頂きたいかを明示し、早くに出す様にしてください。</p> <p>[質問に対するご意見]</p> <p>(小笠原委員) プラス1枚、話し合っ頂きたい事項を出せばよいのでは？</p>	<p>[回答6]</p> <p>(片瀬館長) 3回/年のセンター委員会では、3回目今年度実績報告をして、次年度6月には新年度の件に集中して討議出来るようにしていきます。10月はこれまで通り11月のセンターまつり中心に討議して頂きたいと思ひます。</p>

閉会後、希望される委員の方々には当センター館内ツアーを実施し、解散いたしました。

(委員会資料) 平成24年度横浜市藤が丘地区センター委員会名簿
 藤が丘地区センター第1回センター委員会式次第と資料一式
 平成24年度藤が丘地区センター主要行事予定
 23年度体育室稼働率